

令和8年度 運輸安全マネジメントの取り組み (令和8年3月1日 ~ 令和9年2月28日)

会社名	営業所名	責任者名
エー・エス・ケイライン株式会社	本社営業所	草水 裕也

1.わが社の事故防止のための安全方針

- * 安全確保が最大の顧客サービスであり、業務の最優先事項である。
- * 法改正に伴う「改善基準告示」を遵守し、ドライバーの健康と安全を守る。
- * デジタル技術(デジタコ・点呼システム)を活用し、客観的なデータに基づいた安全指導を行う。

◆スローガン:新しい時代のルールを遵守し、テクノロジーとプロの技術で「事故ゼロ」へ

2.安全方針に基づく目標【plan:計画】

- * 事故削減目標: 重大事故 0件、接触事故【人身・物損・その他】前年実績比60%減
- * 健康管理目標: 定期健康診断受診率 100%、要再検者の追跡調査 100%
- * コンプライアンス目標: 拘束時間・休息期間の完全遵守(2024年4月施行・2026年定着化)

3.具体的施策【Do:実行】

- * 最新点呼の運用: 遠隔点呼・自動点呼機器の導入検討および適切な運用による「点呼漏れ」の完全排除。
- * 拘束時間の管理: 改正改善基準告示に基づき、1日の休息期間(原則11時間以上)の確保を徹底。
- * 安全教育: ドライブレコーダーの映像を用いた「自分事化」できる事例検討会の実施。

4.監査への備え【Check:確認】

- * 運行データの分析: デジタコ・ドラレコデータによる「急加減速・速度超過」の月次チェック。
- * 内部チェック: 運行管理者による「乗務記録」と「点呼記録」の不一致の有無を確認。
- * ヒヤリハット: 配送先や交差点での「ヒヤリ・ハット」情報の月間10件以上収集。

5.次なる一手【Act:改善】

- * フィードバック: 危険挙動が見られたドライバーへの個別面談と添乗指導の実施。
- * 環境整備: 疲労蓄積が懸念されるルートの再検討および荷主との配送条件交渉。

>【全従業員へ】

> 安全運転マネジメントは「形」ではありません。皆さんが無事に帰宅し、ご家族と過ごす時間を守るためのものです。気づいた危険箇所や体調の不安は、いつでも運行管理者に報告してください。

4.わが社の安全に関する目標達成状況及び事故に関する情報

	人身事故		物損事故		その他の事故		総件数	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
前年度(R7年)	0	0	2	9	0	0	2	9
今年度(R8年)	0		3		0		3	

・わが社の自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計(令和7年度 無し)

総件数	0 件	類型別事故件数	0 件
行政処分の内容 :	無し	講じた措置等 :	無し

令和 8 年 3 月 1 日 現在

令和8年度 交通安全スローガン 【新しい時代のルールを遵守し、テクノロジーとプロの技術で「事故ゼロ」へ】

令和8年3月1日～令和9年2月28日

期	第1期	第2期	第3期	第4期	通期
期間	3月－5月	6月－8月	9月－11月	12月－2月	振り返り
重点テーマ	新体制の定義と基本徹底	酷暑対策と事故防止	プロ意識の向上と多忙期対策	冬期路面对策と新年度総括	デジタル管理の運用
具体的アクション	春の交通安全運動連動 健康起因事故の防止	雨天時の視界・制動 過労・熱中症の根絶	混雑路のリスク回避 夕暮れ時の事故防止 冬装備の早期準備	繁忙期の焦り解消 積雪・凍結路対策 年度総括と次期準備	AI点呼導入による 管理漏れの防止

重点遵守事項

具体的な取り組み内容

過労運転防止 | 休息期間の確保。連続運転時間4時間の厳守（4時間以内に計30分の休憩）。

IT点呼・自動点呼 | 機器の精度確認と、異常検知時の迅速な管理者への報告フローの確立。

健康起因事故対策 | 睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査の推奨と、血圧測定の実践化。

車両整備 | OBDI診断（車載故障診断装置）等、最新の点検基準に沿った確実な日常点検。

実施月	安全運転			労働災害	備考
	重点施策	自社で定める事項	全国取り組み		
3月	I.安全意識の刷新 II.日常点検の確実な実施 III.AI点呼導入にゆる管理の強化	・年度計画の周知 ・車両故障の未然防止 ・デモ運用と教育指導			
4月	I.プロの体調と健康管理 II.大型連休前後の事故防止 III.事業用自動車の運行安全確保	・過労運転防止の徹底 ・車両操作の再確認 ・適性診断の実施	・春の交通安全運動	・定期健康診断 40歳以上脳ドック健診	
5月	I.健康起因の事故防止 II.適切な積込方法	・健康診断結果による指導と事故防止策 ・AI点呼での、健康管理の確認と指導 ・過積載防止・荷崩れ防止			
6月	I.梅雨期の視界・路面管理 II.安全走行を確保する運転	・ワイパー、タイヤ点検、AI点呼本格稼働開始 ・梅雨時期の事故防止			
7月	I.熱中症対策・夏期安全 II.健康管理の重要性	・夏季の体調管理と水分補給 ・AI点呼での健康管理チェック	・夏の交通安全運動	・全国安全週間	
8月	I.台風・ゲリラ豪雨対策 II.過労運転の防止	・長距離運転のリスク管理 ・改善基準告示の遵守 ・休息期間の確保状況デジタル管理指導	・無事故無違反チャレンジ運動【8月～11月】		
9月	I.夕暮れ時の視認性向上 II.飲酒・薬物の影響	・飲酒運転の根絶 ・IT点呼の運用状況確認	・秋の交通安全運動		
10月	I.夕暮れ時の事故防止 II.危険物運搬・事故時の対応	・早めのライト点灯・蒸発現象の理解 ・非常信号用具の点検、事故発生時の連絡体制の確認	・過積載絶滅運動強化月間	・全国労働衛生週間 ・定期健康診断	
11月	I.冬期準備・凍結対策 II.冬期の安全運転	・雪道・凍結路面の事故防止策 スタッドレスタイヤへの交換準備	・冬の交通安全運動		
12月	I.年末繁忙期の安全 II.追突事故の防止	・焦りによる事故防止・確実な確認 ・車間距離の確保（ドラレコ映像での指導）	・年末年始の輸送安全総点検		
1月	I.降雪・低温対策 II.悪天候時の運転	・低温時の車両トラブル対処法 ・視界不良の対応。フォグランプ点灯や減速の徹底。気象予報の共有		バッテリー電圧・解氷液の補充	
2月	I.年度末の総括 II.構造上の特性と運転方法	・次年度に向けた車両代替え検討 ・繁忙期の拘束時間・休息期間のルール再確認と指導			